

事業概要【めぶくID・データ連携基盤の普及・定着のためのめぶくPayとめぶくファームの機能拡張】

自治体名	群馬県前橋市	人口	329,456人	事業費	152,930千円
概要	マイナンバーカード及びめぶくIDを活用した、地域経済循環を促す電子地域通貨「めぶくPay」（独自事業）と、地域活性プラットフォーム「めぶくコミュニティ（R5年度デジ田事業(旧称)めぶくファーム）」の機能を強化・融合し、地域経済循環を更に促進するとともに、市民主体の地域活動を効果的・効率的に展開できる基盤提供により、持続可能な共助型未来都市を構築する。				

現状の地域課題

地域づくり団体



もっと多くの人に地域の活動に参加して欲しいし、もっと簡単に色々な方と意見交換がしたい…
でも現状では**一軒ずつの声掛けや集金対応が必要であり負担が大きく、また移動が困難な方や都合がつかない方が意見交換の場に参加する仕組みがない**

任意団体



団体を立ち上げて、色んなメンバーが参加してくれている。でも会員が入れ替わる度に、**紙の名簿を逐一更新し、出欠も個別の電話やメールでの確認が必要**…

サークル



サークルの活動費を管理してるけど、会費の徴収と管理が煩雑…
精算は基本的には現金で、紙の領収書を管理して紛失リスクもある…

実現したい地域の姿

【新しく出来るようになること】

- ・コミュニティが主体となった様々な情報発信・意見聴取・議論の場の提供
- ・コミュニティの効率的な管理・運営

- ✓ コミュニティ運営やイベント企画や建設的な意見を自由に投稿できる
- ✓ マニュアルで煩雑な名簿管理がアプリ機能で簡単に実現

【新しく出来るようになること】

- ・法人格のない小さなコミュニティでも利用可能で、コミュニティの独自のインセンティブ設計も可能な決済基盤の提供

- ✓ 「めぶくPay」で会費徴収・コミュニティ活動の支払い・インセンティブ付与ができる
- ✓ 出欠確認と参加費支払いがまとめて簡単便利



新しい地域コミュニティ基盤の提供：

コミュニケーションと決済を一体的に使いこなした地域内の交流や共助の循環
(災害時におけるコミュニティメンバーの安否確認やコミュニケーション手段としての活用も可能となる)